

地域再生計画本体 新旧対照表

旧	新
<p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 <u>岡山県及び備前市</u></p> <p>3. 地域再生計画の区域 備前市の区域の一部 <u>(地方港湾 東備港、地方港湾 鴻島港並びに第一種漁港 頭島漁港及び第一種漁港 大多府漁港の区域)</u></p> <p>4. 地域再生計画の目標 <u>東備港・鴻島港及び頭島漁港・大多府漁港</u>がある備前市日生地区は県の南東部に位置し、本土と大小13の島々から構成されており、好漁場が多いことから古くから漁業が盛んである。 (略) 東備港日生地区では水揚げされた魚介類を直接消費者に販売する「五味の市」と日生の特産であるカキが好評で、水産物を対象とした観光地では県下第1位となる年間約30万人が訪れるなど、漁業が地域の主要産業となっている。一方、<u>頭島や大多府島及び鴻島</u>でも豊富な海の幸を利用した民宿が盛んであり、東備港の「五味の市」と併せて本土から訪れる人が多い。 (略) <u>東備港を含め沖合にある頭島漁港・大多府漁港において、</u>本土と離島の主要交通機関である定期連絡船が発着する浮棧橋が、整備から30年以上経過し、老朽化が進み深刻な問題となっている。また鴻島港では、島内唯一の浮棧橋が過去3回台風により被害を受けており、生</p>	<p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 <u>岡山県</u> <u>備前市</u></p> <p>3. 地域再生計画の区域 備前市の区域の一部 <u>(東備港、鴻島港及び大多府漁港)</u></p> <p>4. 地域再生計画の目標 <u>東備港・鴻島港及び大多府漁港</u>がある備前市日生地区は県の南東部に位置し、本土と大小13の島々から構成されており、好漁場が多いことから古くから漁業が盛んである。 (略) 東備港日生地区では水揚げされた魚介類を直接消費者に販売する「五味の市」と日生の特産であるカキが好評で、水産物を対象とした観光地では県下第1位となる年間約30万人が訪れるなど、漁業が地域の主要産業となっている。一方、<u>大多府島及び鴻島</u>でも豊富な海の幸を利用した民宿が盛んであり、東備港の「五味の市」と併せて本土から訪れる人が多い。 (略) <u>東備港を含め沖合にある大多府漁港において、</u>本土と離島の主要交通機関である定期連絡船が発着する浮棧橋が、整備から30年以上経過し、老朽化が進み深刻な問題となっている。また鴻島港では、島内唯一の浮棧橋が過去3回台風により被害を受けており、生活面、観光面に多</p>

活面、観光面に多大な影響を与えたことから、再度被害を受けないように早期の改良が求められている。

(略)

計画では、このような状況を踏まえ本土と離島の玄関口となる施設を一体的に整備することとする。東備港では物揚場を改良し浮棧橋を付け替えることにより、利用する漁船及び定期連絡船が安全に休憩・係留・荷揚することが出来るようになり漁獲高の向上も見込まれ、また背後への浸水被害も軽減されるため、この地域の一層の発展に寄与するものとなる。鴻島港では、過去3回、台風の高潮と暴風により浮棧橋の渡橋が海へ落橋していることから、渡橋を吊り上げる昇降機を設置し、大多府漁港では老朽化した浮棧橋の渡橋を新たに製作し、頭島漁港では浮棧橋のアンカーチェーン張り替え及び渡橋の補修・塗装を行うことにより、利用者の安全確保及び、本土との主要交通ルートである連絡船航路の確保を図る計画とする。

(略)

目標4) 本土－離島間の定期船航路の確保

(頭島漁港、大多府漁港：1日11便、鴻島港：1日5便)

現在でも頭島、大多府島への離島航路は1日11便、鴻島へは1日5便あるが、定期連絡船が発着する浮棧橋が老朽化や災害により使用不可能になった場合は、現状の便数が確保できなくなり観光客・島民に多大な影響を与え、地域経済にも影響を与える恐れがある。そのため、浮棧橋の整備を行うことにより、安全で安定した本土と離島の交通ルートを確保し、地域経済の安定を図る。

大な影響を与えたことから、再度被害を受けないように早期の改良が求められている。

(略)

計画では、このような状況を踏まえ本土と離島の玄関口となる施設を一体的に整備することとする。東備港では物揚場を改良し浮棧橋を付け替えることにより、利用する漁船及び定期連絡船が安全に休憩・係留・荷揚することが出来るようになり漁獲高の向上も見込まれ、また背後への浸水被害も軽減されるため、この地域の一層の発展に寄与するものとなる。鴻島港では、過去3回、台風の高潮と暴風により浮棧橋の渡橋が海へ落橋していることから、渡橋を吊り上げる昇降機を設置し、大多府漁港では老朽化した浮棧橋の更新を行うことにより、利用者の安全確保及び、本土との主要交通ルートである連絡船航路の確保を図る計画とする。

(略)

目標4) 本土－離島間の定期船航路の確保

(大多府漁港：1日11便、鴻島港：1日5便)

現在でも大多府島への離島航路は1日11便、鴻島へは1日5便あるが、定期連絡船が発着する浮棧橋が老朽化や災害により使用不可能になった場合は、現状の便数が確保できなくなり観光客・島民に多大な影響を与え、地域経済にも影響を与える恐れがある。そのため、浮棧橋の整備を行うことにより、安全で安定した本土と離島の交通ルートを確保し、地域経済の安定を図る。

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

東備港周辺の地域活性化を行うため、漁業及び離島航路に関連した施策を行い本土と離島を含めた地域の一体的な発展を図るものである。

交付金事業として、東備港では物揚場を改良することにより老朽化・天端高不足の解消及び水深の確保を行い、利用する漁船の安全性、作業の効率化を図る。併せて既存の浮棧橋を付け替え老朽化の解消を図る。鴻島港では浮棧橋の渡橋を改良し再度災害を防止し、大多府漁港では老朽化した浮棧橋の渡橋を新たに製作し、頭島漁港では浮棧橋のアンカーチェーンの張り替え及び渡橋の補修を行い、定期連絡船利用者の安全確保及び本土との流通ルートの確保を図る計画とする。

(略)

5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

港整備交付金を活用する事業

[施設の種類と事業主体]

- ・港湾施設（東備港） 岡山県
（鴻島港） 備前市
- ・漁港施設（頭島漁港・大多府漁港） 岡山県

[整備量]

- ・港湾施設 . . . 物揚場、浮棧橋（東備港）
浮棧橋（鴻島港）

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

東備港周辺の地域活性化を行うため、漁業及び離島航路に関連した施策を行い本土と離島を含めた地域の一体的な発展を図るものである。

交付金事業として、東備港では物揚場を改良することにより老朽化・天端高不足の解消及び水深の確保を行い、利用する漁船の安全性、作業の効率化を図る。併せて既存の浮棧橋を付け替え老朽化の解消を図る。鴻島港では浮棧橋の渡橋を改良し再度災害を防止し、大多府漁港では老朽化した浮棧橋の更新を行い、定期連絡船利用者の安全確保及び本土との流通ルートの確保を図る計画とする。

(略)

5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

港整備交付金を活用する事業

[施設の種類（事業区域）と事業主体]

- ・港湾施設（東備港） 岡山県
（鴻島港） 備前市
- ・漁港施設（大多府漁港） 岡山県

[整備量]

- ・港湾施設 . . . 物揚場、浮棧橋
- ・漁港施設 . . . 浮棧橋

・漁港施設・・・浮棧橋（頭島漁港・大多府漁港）

[実施期間]

- ・港湾施設 平成17年度～平成21年度
- ・漁港施設 平成19年度～平成20年度

[港整備交付金の総事業費]

- ・総事業費 620,000千円
 - 港湾施設 580,000千円（うち交付金 240,000千円）
 - 漁港施設 40,000千円（うち交付金 24,000千円）

(略)

[実施期間]

- ・港湾施設 平成17年度～平成20年度
- ・漁港施設 平成19年度～平成21年度

[港整備交付金の総事業費]

- ・総事業費 537,000千円
 - 港湾施設 460,000千円（うち交付金 192,000千円）
 - 漁港施設 77,000千円（うち交付金 46,200千円）

(略)